

医療連携研究会 在宅医グループ内や連携相手との情報共有について



県内の開業医グループの情報共有の到達点が報告された(9/12)

表① 基本要件

- ① システムは24時間の利用が可能であること。
- ② 各医療機関等にある一般的なパソコン端末で動作が出来ること。
- ③ 各機関が特別な費用を必要とせずにネットワークに接続出来ること。
- ④ 特別なサーバーを必要とせずに情報の共有が出来ること。
- ⑤ セキュリティが担保され、個人情報の保護が担保されていること。

表② Grooveを用いた連携の利点

- 1) 情報が迅速に得られる。
- 2) 画像情報など情報量が多い。
- 3) 情報がきれいで読みやすい。
- 4) これまでの紙情報に比べ管理が楽になった。
- 5) 往診や訪問していない時の情報が得られる。
- 6) 時間を気にせず情報伝達ができる。
- 7) 副主治医も状況を楽に把握できてより良いサポートが可能になる。
- 8) 訪問業務の準備が楽になった。(訪問看護・訪問調剤)
- 9) ディスカッションの利用が効果的であった。
- 10) 多職種が患者様に対して同じ目的と同じ意識をもって接することができる。

九月十二日、在宅医療における「M-L」を活用した情報共有をテーマに医療連携研究会を開催しました。全国在宅療養支援診療所連絡会の中野一司先生が、院内における多職種間情報共有について講演し、県内の在宅医グループからは、情報共有について現段階での事例が報告されました。また、五大がん対象の「地域連携バス」の運用について、県がん診療連携協議会の能登啓文先生より特別報告が行われました。(六・七面に詳報)

M-Lでの情報共有をめざして

在宅医療いみずネットワーク

高橋 徹

患者さんの安心、そのためにはまず三六五日・二十四時間体制で医師又は看護師に連絡できることがあります。そのために連絡先の優先順位を付けたものを患者さんに渡し、どういうときに連絡するかの基準を退院時カンファレンスや訪問時に説明、確認しています。いみずネットでは、参加

医師、看護師、薬剤師、

主担当医等で相談の上、在宅医療や訪問看護ステーションを選んでいただぐことにしています。

それを見ながら患者・家族

している医師はどういう処置ができるかということを〇×で記載したカタログのようなものを各病院の地域連携室に配っています。

その解決策として、①に

事務員が一人増えることにななりました。増えた分で医療機関や薬局、地域連携室を回つていただいてメールソフトを使えるところを増やしていく。②について

crossover Office Groove

2007(以下グルーブ)を導

いてはセキュリティを保つた

ためにはITを使う方がいい

のではないかと思います。

その結果、私は

なぜネットワークのICT化が進まないのか、とい

うことを私なりに考えまし

た。①医師・スタッフがパ

ソコン・ソフトを使用でき

ない、②ICTのコスト、

ランニングコスト、③患者

情報のセキュリティ、では

ないかと思います。

現在、ファックスによる情

報共有で動いていますが、

より患者さんの安心を得る

関わってくるのでランニング

コストがかかってしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかってしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン

グコストがかかてしまい

ます。

そこで、この方法は業者が

報通話で暗号化、専用回線

を活用したい。

一方で、今までには連携す

ることで解決できるので

はないかと考えています。

ただし、この方法は業者が

関わってくるのでランニン